

[招待講演] IoT エッジ端末向け小型低電力プロセッサ SubRISC+

原 祐子[†]

本講演では, IoT エッジコンピューティングに向けた小型低電力プロセッサ SubRISC+ のプロジェクト, および, その成果について紹介する. SubRISC+は非常にシンプルな機能ながら, ヘルスケアの異常検出等の実用的なアプリケーションをリアルタイムに処理することができる. 従来の組込みプロセッサに比べ, 回路面積 0.51 倍, 電力効率 2.7 倍, エネルギー効率 3.8 倍を達成し, 様々な小型 IoT エッジデバイスへの応用が期待できる.

[†] 東京工業大学 工学院 情報通信系